

BIA communication

B

❁ 2009.夏号 ❁

第16回 BIA総会報告

平成21・22年度 BIA役員名簿&新役員コメント

心ビジネスに働く難しさと喜び 清原當博

第5回 The Master of Bridal Coordinatorの報告

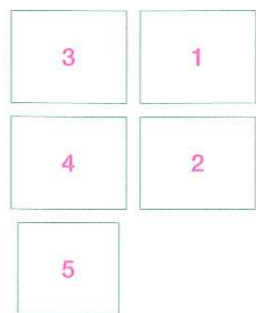
第2回ブライダルパーティ研究会の報告 小田拓也

社団法人日本ブライダル事業振興協会

10年目を迎えた KAORUKOフラワーコレクション開催 KAORUKOの花の世界を堪能

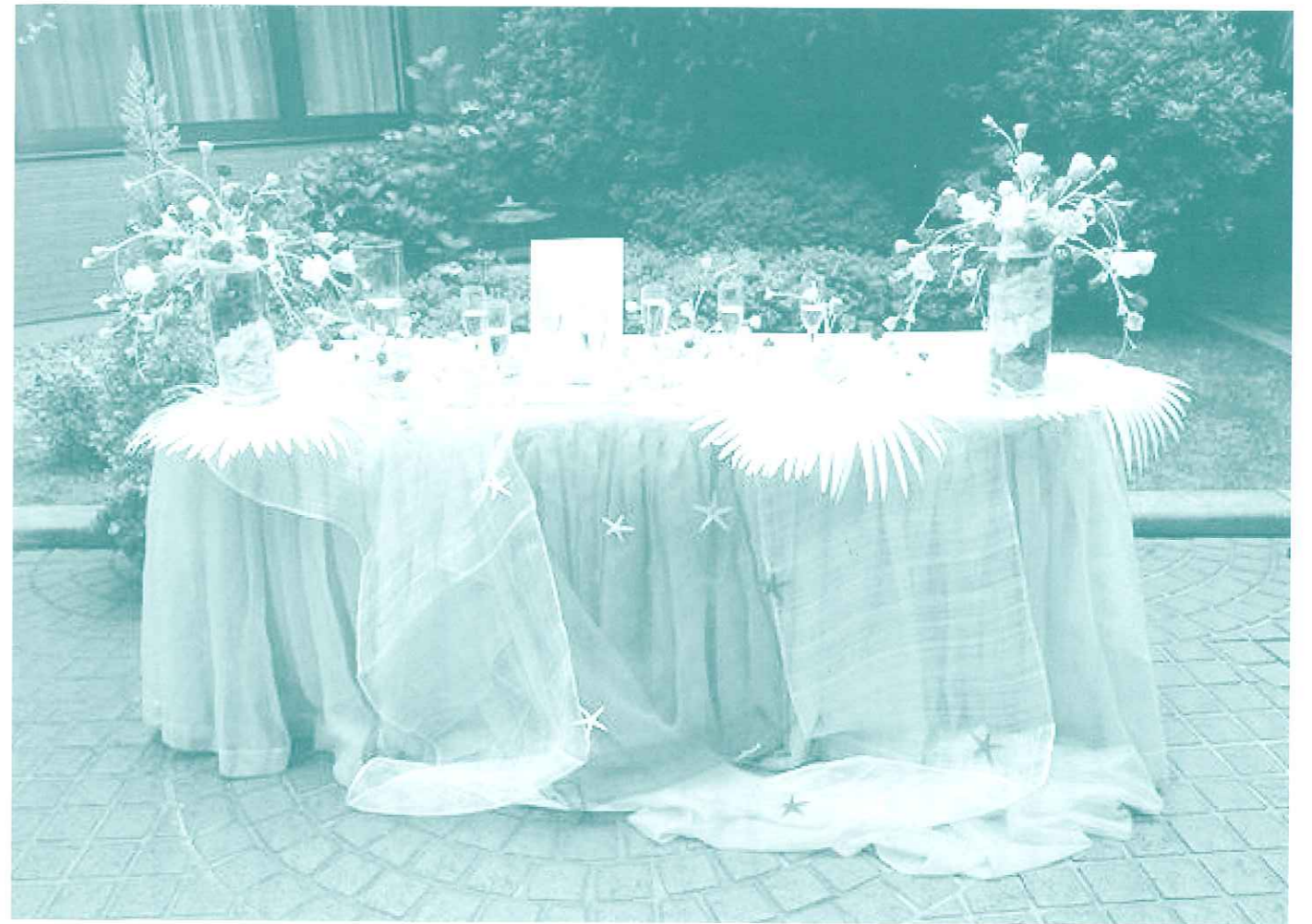


- 1.コロンビア大使公邸で、大使とフロールエバー社長夫妻とKAORUKO。
- 2.KAORUKOの作品、コロンビア国旗の色の揺れるブーケ。山野愛子ジェーン氏と。
- 3.チケットの利益の一部をコロンビアの孤児支援に。大使を通じて寄付。
- 4.くちなしの花のプリザーブドのヘアアクセサリ。ブーケを持つモデルと美容家けんすけ氏。
- 5.揺れるブーケを青バラのプリザーブドフラワーで表現。



のように濃い青、薄い水色、白の彩りで海の美しさを表現したり、バラの花びらをKAORUKO独特のワイヤーリングでつなぎ合わせて大輪のバラを作り上げるなどのテクニックでローズメリアとして蘇らせた作品が展示されていました。

その他、(和と洋の融合)としてのジャパニーズフラワーアレンジメント。海外のフラワーアレンジメントに日本のわびさびを感じさせる、斬新な雰囲気の商品も話題になりました。



プリザーブドフラワーでテーブルコーディネート

コロンビア政府公認のプリザーブドフラワー会社であるフロールエバー社の主催で「KAORUKOフラワーコレクション」が開催されました。今年、10年目を迎える「KAORUKOフラワーコレクション」は毎回、独創的なフラワーアレンジメントで話題を呼んでいます。

今年、「革新的な3Dヘアアクセサリ、揺れるヘアアクセサリ」として、KAORUKOが考案した技法で創られたヘアアクセサリが人気を呼びそうです。

また、プリザーブドフラワーを製品化する過程で出る花びらをKAORUKOの魔術の技法で、プライダルのテーブルフラワーに変身させてしまうアイデアが、プリザーブド革命として注目されていました。

一生に一度の晴れの日、華やかさを求めるプライダルは「エコ」という発想とは相反する要素が多いと考えたKAORUKOが時流に合ったウエディングはないかと考えていたところ、「エシカル」という概念に到達。生産過程で廃棄処分される花びらを使った結婚式を「Ethical」(エシカルウエディング)と名付け、新発想のウエディングを発表。

具体的には、その花びらを花器の中に色分けして、何層にも重ね合わせ、ブルーの海がテーマなら、ラグーン